

様式 2

先進地（現地）調査報告書

令和 6 年 3 月 29 日

玉名市議会
議長 江田 計司 様

氏 名 瀬崎 剛

下記のとおり、先進地（現地）調査を行いましたので報告します。

調 査 議 員	多田 陽啓二 北本 将幸 吉田 真樹子 瀬崎 剛		
日 時	令和 6 年 2 月 14 日（水）～令和 6 年 2 月 15 日（木） 午前・ 午後 1 時 30 分 ～ 午前・ 午後 4 時 30 分		
調 査 先	鳥取県八頭郡八頭町	自動車使用に係る走行距離	km
調 査 事 項	廃校活用の経緯と現状		
調査先面会者	田沢 将也（八頭町産業観光課） 山田 健吾（八頭町企画課） 大田 直幸（オオエバレーステイ支店）		
概要及び所見	別紙のとおり		

2017年12月オープン

2015年より住民説明会を始め、2016年に運営協議会を設立。合わせて民間企業、地域金融機関を交えて、まちづくり事業会社設立準備委員会を設立。

2017年3月の閉校から9ヶ月後の2017年12月に隼 lab. オープン。

設備費用 182,635千円

内訳 設計監理 13,965千円

本体工事（2.3階） 100,440千円

備品購入 30,770千円

（地方創生拠点整備交付金 補助率1/2補正予算債充当）

拡充工事（1階増築） 37,460千円

（地域創生拠点整備交付金 補助率1/2一般補助施設整備等事業債充当）

「隼 Lab. を拠点に持続可能な未来のモデルとなる田舎をつくる」

をコンセプトに行政（八頭町）が廃校舎を改修し無償貸与、民間企業（シーセブンハヤブサ）が運営

（株）シーセブンハヤブサ（7社の民間企業が出資）

オープンに先立ち2017年4月に設立

代表取締役CEO 古田琢也氏（鳥取県内で飲食店を経営）

鳥取県内 I T 企業、鳥取銀行ほか

運営体制

隼地区および隼 L a b . 連携運営協議会

- ・ (株)シーセブンハヤブサ (運営主体)、隼創生会 (地域) および行政で構成
- ・ 隼 L a b . コミュニティーゾーン (地域利用スペース)
- ・ 地域と連携した事業展開を実施

隼創生会 (全地域加入)

- ・ 地域一体となって隼 L a b . の運営に取り組むため住民によってつくられた

組織

- ・ 住民と入居企業が連携し敷地内の草取りや清掃などの環境整備活動に取り組

む

※毎週火曜日 お年寄りタイム実施

運営状況

シェアオフィス入居・コアワーキングスペース会員含めて約 40 企業入居

平均勤務者数 60 人/日

カフェ来客数 3 万人/年

ビジネスの拠点かつ、地域住民の交流拠点として運営

所見 小さな町の地域おこしと考えると理想に近いように思える。CEO の古

田氏が、隼地区は名前に縁があるということでスズキのバイク「隼」の愛好家が多く訪れる地域で隼ライダーをはじめとする来訪者の立ち寄りどころとして、また地域のみなさんにも愛される「ちいきの台所」を作ろうと、隼駅前に食事処を開業、古民家をリノベーションしたゲストハウスを開店させるなどしている(株)トリミク（地元の若者たちで構成）を設立して地元で頑張っている若者というところも地域に受け入れられているところかもしれない。

小天東小学校跡地も地元ではないが、熊本市内の、若く、やる気のある企業だと聞いている。地元からも愛され可愛がってもらえる施設運営を目指して頂きたい。

「大切な人と大切な時間を過ごす」をコンセプトに、遊ぶ、食べる、泊まるを楽しむ、里山オールインクルーシブ

大自然の中の小学校跡地をリノベーションして、宿泊施設として運営されていきました。外観も大変綺麗にされていますが、小学校の面影のこされたまま。

一転、中に入るとお洒落なフロントからドリンクサーバー、炭火焼の囲炉裏、どれをとってもお洒落。

視察日は休館日だったのでいろんな部屋を見学出来ました。スイートルームやジュニアスイート、スタンダードルームなど、「多様性」と「遊び心」を大切にした客室は趣味や滞在スタイルで、お好みの部屋が選べます。お値段が気になる方や、団体の方たちには、大きな部屋で20人ほどが泊まれるカプセルホテルのような部屋が2部屋用意されていました。

体育館は自由に遊べるトランポリンや、子ども達が喜びそうなロッククライミングが設置されています。

景色の良い校庭に出ると、サウナが。もう一つ校庭にはグランピング施設まで。

食後、暗くなったところで焚火に癒され、空は満天の星空とか最高。

私も子ども達を連れて、山にキャンプに行ってた頃を思い出しました。

食事は囲炉裏を囲んで地元で採れた山の幸、日本海の海の幸、メイン料理の鳥取和牛は自分で好みの焼き加減でいただくとのこと。飲み物は鳥取県内から取

り寄せる地酒や、樽生のクラフトビール、地元産のワインなどアルコールを含むドリンクがチェックインからチェックアウトまで飲み放題。始め料金を聞いて高めだなと思いましたが、体験やアクティビティなどすべてのサービスが宿泊料金に含まれている滞在スタイル聞き納得です。清掃や各種体験事業等で地元の雇用も創出。

運営されているのは地元で有名な従業員197名の企業。大江ノ郷自然牧場グループ(有)ひよこカンパニーさん。

リノベーション費用・補助金等

- ・校舎建屋外部の防水工事4,590千円（八頭町単独事業）
- ・校舎、グラウンド、体育館の農泊施設開業に伴う改修 費用非公開（有ひよこカンパニー） 農山漁村振興交付金（農水省） 鳥取県企業立地事業補助金（鳥取県）
- ・校舎は八頭町役場と、ひよこカンパニーの賃貸借契約となっている。（10年契約、当初5年間は無償）

所見 観光地ではなく、行く所はないのと言われていたが、大自然、星空、ゆっくりした時間、田舎ということを前面に押し出して長所になっている。自然というところでは玉名も活かせる所があるので、ない物は仕方ない、発想の転換が必要かも。